

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会長 石田 喜克
 副会長 武末 喜久治
 幹事 岩切 洋
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1827 回 平成 26 年 3 月 20 日プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. PETS報告 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 大迫 三郎

中部分区ガバナー補佐 尾崎 敏弘

第 2730 地区テーマ

『職業奉仕の実践』『感動』

高鍋ロータリークラブテーマ

『みんなで力を合わせて行動を』

3月の月間テーマ

識字率向上月間(世界ローターアクト週間3/13含む週)

本日の例会案内

- *PETS報告—会長エレクト 武末喜久治君
- *会員卓話—池部文仁君 *プログラム委員会

次週例会案内 ; 3月27日 (1828回)

- *夜間例会&観桜会 (場所; めいりんの湯)
- 送迎バス=17:30 ホテル泉屋出発

第 1826 回 例会内容

■会長の時間

今月は、識字率向上月間となっております。かつ、世界ローターアクト週間(3月13日を含む週)でもあります。

本日は、ローターアクトクラブのメンバーも出席して頂いております。後ほど、助成金の交付式、コメントを頂けるようになっております。アクトメンバーとの情報交換を宜しくお願い致します。

9日(日曜日)に都城市で宮崎県合同のIMが開催されました。参加頂きました16名の皆様に感謝申し上げます。

小山田浩定氏の『職業奉仕とロータリー』の基調講演は、感銘深いものがありました。各分区代表4名の実践されている職業奉仕の発表には、勇気づけられた部分が多々あったように思えました。本日2名の方々IMの報告をして頂きますので、ご拝聴を宜しくお願い致します。

さて、識字率向上月間は、2005年位までは7月が特別月間に指定されておりましたが、2,006年頃から3月に変更になっているようです。ロータリークラブは、この月間中に、読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリ

会長 石田喜克君



ーボランティア、その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでおります。世界で数億人以上の方が、読み書きが出来ない現状を把握し、かつ、その3分の2が女性であることも真摯に受け止め、支援・援助体制を確立しなければならないと考えます。すぐにでも実行に移せそうなことが、最寄りの図書館等に本(新書・古本等)の寄贈も一つの手段であるかと思えます。皆様の可能な限りの行動をお願い申し上げます。

本日もロータリーを楽しみましょう!

■幹事報告<文書案内>

*第3回ローターアクト地区連絡協議会案内

日時 平成26年4月13日(日)

場所 霧島市国分公民館

*国際大会信任状の件

*「石井十次賞」贈呈式案内

日時 平成26年4月11日(金)

場所 中央公民館ホール

幹事 岩切 洋君



■出席報告

出席委員長 野田俊一君

出席状況 (3/13)

会 員 数	48名
出席会員数	36名
ホーム出席率	76.60%
前々回修正出席率	89.58%



■BOX披露 親睦活動委員長 木浦亨英君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

石田喜克君 ローターアクトの参加を頂きありがとうございます。

IM報告を頂く坂田君、緒方君に感謝。藤本君の卓話楽しみです。

茂木晃君 アクト週間に因んで。

尾崎ガバナー補佐IMお疲れ様でした。

橋口清和君 IM欠席申し訳ございません。藤本君、本日の卓話お願い致します。池部君来週は会員卓話よろしくお願ひ致します。

中武泰一郎君 長女が結婚しました。やっと引き取り手が現れて安堵いたしております。

坂田師通君 IMに参加させていただき、勉強させて頂きました。ありがとうございました。



■IM参加報告

IMに参加させていただくのは2回目でした。基調講演をされた小山田浩定氏のスケールの大きな話をうかがって己の未熟さ、器の小ささが身に染みて分かりました。

君子、賢者、愚者という言葉が繰り返される度毎に、自分はまだまだ愚者であると自覚できました。

「職業奉仕と私」というテーマで発表された4人の皆様の各々の立場で頑張っておられる姿に感動し、自分も負けないように努力しなければならないと心に感じました。ありがとうございました。

坂田師通君



■IM参加報告

先日参加させて頂いた、「インターシティミーティング(IM)」について報告します。

昨年に続き2回目の参加でしたが、昨年は「IMって何?」と云うような状況でしたが、今年は「ロータリアンの勉強会だから」との思いで行って来ました。大会のテーマは「職業奉仕とロータリー」でした。実は私は、この『職業奉仕』という言葉がこれまで耳にする度に「職業奉仕とは何ぞや?」といつも疑問に思っていました。例えば、『社会奉仕』でしたら、「ボランティア活動を通して社会に奉仕・貢献する」と理解することができるのですが、「職業に奉仕する」では言葉になっていません。私は「職業を通して社会に奉仕する」が良いのかなと思っていたのですが、生コン製造業の私にとって、医師の坂田先生や、弁護士の高橋先生など、医療技術や法律の専門知識によって直接個人に対して手助けをするということはありません。

話は変わりますが、先週東北に行く機会を得まして震災後3年を経過した被災地を視察してきました。

皆さんも御存知かと思いますが、被災地復興にあたり人材不足、資材不足が伝えられています。生コン業界も同様であり、少しでも早い復興に向け臨時のプラント(復興プラント)が立てられています。今回、被災地の現状を視察するとともに、復興プラントの社員の話を聞くことが出来ました。皆さん被災者のために懸命に仕事に取り組んでいる姿が印象的でした。この様な状況では自分の仕事が個人に役立っていると思えるのかもしれませんが、通常私達の仕事は、使用者である個人の顔が見えることは少ないものです。ですから、「職業を通して社会に奉仕する」という言葉があまりピンときませんでした。

被災地の話しをもう少しさせて頂きますと、東松島市、石巻市、南三陸町、気仙沼などを現地の震災ボランティアガイドの方々に説明を受けながら見てきましたが、ガイドの方々が最後に共通して言われたことが、「遠いところからわざわざ見に来て頂いて有り難うございます。私達被災者にとって現状を知って貰えるだけでも頑張ろうという気持ちを持つことが出来ます。どうか地元に戻られたら見てきたことを周りの人達に伝え、自分たちの防災意識を高めるとともに、被災地はまだ復興の途中であるということをお伝え下さい」と言われています。

話しをIMに戻しますが、『職業奉仕』についてなかなか理解することが出来ない私でしたが、今回壇上に立たれた方々の話を聞いている中で、『職業奉仕』は職業を通じて社会への奉仕と言うよりも、仕事に対しまじめに真摯に取り組むことによって使用者だけではなく、従業員を含め資材の納入業者なども含め周りの人々のために奉仕する心をもって職業を営むと言えるのではないかと感じました。

基調講演をされた、総合メディカルの小山田パストガバナーは、「ロータリーは、人生道場です。例会に出席することで人間の完成度を高めて下さい。ロータリーの精神を、損得だけではない経営に生かし、正直に生きて下さい」と話されていました。

最後に、総合メディカルの会社の《哲学》、「わたしたちの誓い」と、小山田パストガバナーの座右の銘を紹介し、IM参加報告とさせて頂きます。

「わたしたちの誓い」

わたしたちは、この一度しかない、かけがえのない人生を価値高く生きます。常に正しい考え方を求め、感謝の心を持ち、勤勉、謙虚、正直、質素、素直で誠実な、自立した人間になります。私達の仕事が社会の発展、そして多くの人々の生活の向上に貢献することを確信し、責任を持ち、効率の良い仕事を行います。よいことはすぐにやります。悪いことはすぐやめます。

「座右の銘」

『人に親切、自分に辛接、仕事に深接』

緒方郁男君



【会員職業卓話】

整体師への長い道程

都城工業高校時代の15年間、バレーボール部の顧問をつとめていました。その間に、バレーボール部の選手の怪我には、かなり心配し悩まされていました。何とかして早く完治させたいと考え、痛めた選手を、いろんな整骨院や整体院に通わせていました。そんな時に、鹿児島の玉龍高校の監督さんと出会い、『姿勢保健均整法』という整体術があること、凄い整体法であることを知りました。その先生からは、練習試合のたびに手ほどきを受けました。半年後には、選手の捻挫や腰痛を、習い覚えた整体法によってかなり治せるようになったのです。

腰痛分離症の生徒が、なかなか治らず困っている時には、『イトウテルミー療術法』に出会い、腰痛を治すことができました。この施術法も、とてもユニークで、人間の体の自然治癒力を数倍高めて元気にしてくれることがわかりました。これまた勉強の対象として、自らも療術院に通いました。長い間、膝を痛めていた選手が、九大病院で、「この膝では、もうバレーはできません」と宣告されたことがありました。親子共々絶望のどん底に落ちていましたが、この膝を、テルミー療術院の先生が救ってくれたのです。この時は、「不治の病」の奇跡的な回復に、非常に驚き喜び、感謝感激しました。

高鍋に赴任してからも、バレー部を率いながら、整体を続けました。あれから12年。

「退職後は何をしようか」とずっと思索していました。定年を迎えようとしていたある日の新聞の広告欄で、「あなたも整体師になりませんか」という見出しを見つけこころ躍らせました。「これだ。俺には整体ができる」。それ以来です。「退職後は整体師になって、体の歪みを治す仕事につこう」と決心したのは。

それからは、数々の整体術の講習会や勉強会に参加して、いろんな整体療術法を勉強しました。

新聞広告で見つけた『健友館整体術』は、習得するために大阪、高松、東京、名古屋での丸々三日間の講習会に出席して、整体技術を学び習得しました。三年かかりました。

二年目に、「藤本ほかほか整体院」を開業しました。『気導術』は、福岡まで毎月一回の研究会にバスで通い一年で認定証を戴きました。

『骨格バランス療法』は、最近その療法を知りました。鹿児島での説明会で納得して、福岡、東京、新潟（上越市）の勉強会に参加しました。これは、まだ未だに勉強不足で、幼稚園レベルです。この整体も凄いです。これから徐々に勉強していきます。

SAA 委員 藤本範行君



こうしていろんな整体法を学ぶうちに、痛みや歪みを治す方法はいくつもあることに気づきました。「頂上を極めるルートは何本もあるのだ」ということがわかったのです。このことは、大きな収穫となっています。

現在は、主に三つの療術法を中心に、整体の施術をしてあげています。

施術後の患者さんに、「痛みがなくなりました」とか「体が軽くなりました」とか言って喜んでもらえる時は、疲れも吹っ飛びます。その上に報酬をいただいて、笑顔で帰っていただけるなんて、こんな有り難い仕事はないと、心から嬉しく感謝しています。いい仕事に出会って就けて、定年後の自分の職業とすることができたことに、最高の生きがいと幸せを感じています。

これからは、更に心と体の勉強をしながら、この整体療術を極めていきたいです。この整体という職業を通して人様に奉仕していくことが、私の「職業奉仕」だと確信しています。これから益々元気で、ロータリーと共に、「整体」を頑張っていきたいものです。

.....

<情報の広場>

このコーナーでは、親睦に役立つ情報を常に募集しています。

<クラブ会報委員会より>

緒方君、詳細なる I M の報告ありがとうございました。昨年に引き続き素晴らしい報告で、感動いたしました。藤本君の卓話を拝聴し、真摯に学ぶことの大切さを改めて感じました。ありがとうございました。



高鍋ロータリーアクトクラブへ助成金授与



石田会長と田中会長



ピアノ演奏 森幸子さん



タカナベカイドウ